

金融研究センター特別研究員公募

研究プロジェクト

【論文等執筆方式】

「社会・環境的効果と収益性の両立・好循環に向けたインパクト指標の在り方に関する研究分析」

<任期：1年程度（延長の可能性あり）>

● 背景

社会・環境的効果（インパクト）と収益性の両立を企図する「インパクト投資」については、国内外で残高が増加しているほか、日本政府においても、課題先進国と言われるわが国が社会・環境的課題を成長の源と捉え、この解決を目指す創業企業を支援する手段として、インパクト投資を推進することを明らかにしている。金融庁が令和4年10月に設置した「インパクト投資等に関する検討会」においても、インパクト投資促進のための施策の議論が行われ、今後「基本的指針」の策定や、実務的な課題を議論する「コンソーシアム」の設置等が予定されている。

一方で、社会・環境的効果と収益性の両立、さらには、その好循環の実現に向けて、どのような指標を、インパクトを測定・管理するための KPI として設定し、活用すべきかについては、知見の蓄積や体系化が十分に進んでおらず、インパクト投資を促進し、持続可能な経済成長を実現するうえでの課題となっている。

● 研究内容

上記のような背景のもとで、インパクトと企業価値の両立・相乗効果の実現に向けて有効な KPI 設定・活用の在り方について、企業、投資家等へのヒアリングや文献に基づき調査する。さらに調査結果を踏まえて、国際的な取組みにおいて収集・使用されているインパクト測定・管理に関する指標を分析することによって、今後求められる指標整備の方向性等について、学術的な観点から考察する。